

聞こえない世界

益田市立益田中学校 三年生の作品

皆さんは、周りに耳が聞こえない人がいますか。片方だけ聞こえない人がいることを知っていますか？

私は、左の耳が聞こえていません。赤ちゃんのころにおたふく風邪にかかって、その後遺症で聞こえなくなったそうです。大人になったら治療方法があるかもしれないと思い、自分で調べてみました。すると、今の医療では治療方法はないことがわかりました。この病気で両耳が聞こえなくなる人もいます。片方だけでも聞こえることはありがたいけれど、一度でもいいから両耳で聞いてみたいと思うことがあります。

左耳が聞こえないことは、先生から学校みんなに伝えてもらっています。小学生の頃、そんな私に、試すようなことをしてくる人がいました。聞こえないほうの左耳に向かって大きな声を出されて、とても嫌な思いをしました。

左耳が聞こえない分、右耳が反響を繊細に拾って、左耳をサポートしてくれています。しかし、大きな声を出したり、大きな音を立てたりなどされると、聞き取りづらくなってしまいます。そして、聞こえる方の耳に大きな負担がかかってしまいます。

また、耳で聞くだけでなく、話す人の口の動きを見て、言葉を読み取っていたことにも気が付きました。ここ数年、新型コロナウイルス感染防止のため、常にマスクをするのが当たり前前の生活になっています。マスクをしていると口元の動きがわからないため、言葉を読み取りにくくなったからです。

そのため、友達と話をしていて、聞き直すことが多くなりました。何回も聞き返されるので、相手の声が変わってきます。なんだか不機嫌になってくるのです。本当は聞こえているのではないかと疑われることもありました。そういうことが続くと、よく聞き取れないことがあっても、聞き直す相手が不機嫌になるのではないかと思います、聞き直すことをあきらめてしまうことがあります。

「障がい」は外見では判断できないものもあります。その場合は、本人から聞かないとわかりません。そのため、周りから障がいがないととらえられてしまうのです。私のように、見た目では全くわからないけれど障がいを持っている人はたくさんいます。そういう人が身近にいるかもしれないということをもっと考えてほしいと思います。

私は、特別扱いをしてほしいとは思っているわけではありません。けれど、助けを求めたときには、優しく接してほしいと思います。

例えば、私が何回も聞き直したときに、嫌な顔をしないでほしいのです。分かりやすく聞こえるようにゆっくりはっきり話してほしいのです。ちょっとした気遣いや配慮があればうれしいです。

障がいがある人はもちろんですが、障がいがない方にも、ちょっとした気遣いや配慮を持って接することができれば、嫌な気持ちをする事がなくなると思います。

障がいの有無に関係なく、気持ちよく接してほしいし、自分もそうしたいと、心から思います。